



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 セブン工業株式会社

コード番号 7896 URL <http://www.seven-gr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永吉 喜昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 田中 太郎

TEL 0574-28-7800

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,598	△2.0	134	△1.5	98	△6.1	90	48.2
24年3月期第3四半期	8,772	11.4	136	—	105	—	60	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	6.05	—
24年3月期第3四半期	4.08	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,552		4,990		4,990	43.2
24年3月期	11,257		4,900		4,900	43.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,990百万円 24年3月期 4,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,460	5.9	400	84.9	340	89.2	280	114.0	18.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	15,577,500 株	24年3月期	15,577,500 株
25年3月期3Q	666,288 株	24年3月期	664,851 株
25年3月期3Q	14,911,521 株	24年3月期3Q	14,914,682 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興に伴う公共投資の本格化や製造業を中心とした設備投資の復調などにより、緩やかに回復の傾向にある一方、欧州債務問題や中国の景気減速などの影響により、依然として不透明な環境で推移いたしました。

住宅関連業界におきましては、依然として新設住宅着工戸数は低水準にあるものの、ここへきて緩やかながら増加に転じており、前年同月比を上回る状況が続いております。

こうした事業環境のなか、当社におきましては、主力商品である階段のバリエーション拡充を図るべく新規設備の導入や、住宅パネルの再構築に着手するなど、より強固な事業基盤の構築に努めてまいりました。

積層建材事業については、積層階段、カウンターとも安定した受注を確保することができました。また、塗装設備の増強や生産工程の改善など一層の品質強化、生産性向上に努めた結果、堅調な事業運営となりました。

木構造建材事業については、新規顧客の開拓や既存顧客への需要深耕策の取り組みなど事業の再構築に資する施策が着実に成果となって表れてきました。販売面において施設建築が好調に推移したことや、ツーバイフォーパネルの生産に着手し住宅パネルの増強を行うなど、同事業部門における業績回復の道筋がより顕著なものとなりました。

化粧建材事業については、和風造作材や化粧階段の受注が低迷しました。その後、第3四半期に入り、新設住宅着工戸数が増加に転ずるに合わせ、受注が回復傾向になったことに加え、新商品であるシート階段の製造を開始するなど業績回復に努めてまいりましたが、上半期の受注減の影響をカバーしきれず厳しい事業運営となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は85億98百万円と前年同四半期と比較し、1億74百万円(△2.0%)の減収となりました。利益面では営業利益1億34百万円と前年同四半期と比較し、2百万円(△1.5%)の減益、経常利益は98百万円と前年同四半期と比較し、6百万円(△6.1%)の減益となりました。一方、四半期純利益は90百万円と前年同四半期と比較し、29百万円(48.2%)の増益となりましたが、これは主に前年同四半期の特別損失に計上した減損損失50百万円等の減少によるものであります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産につきましては、115億52百万円となり、前事業年度末と比べ2億94百万円増加となりました。これは主に売上債権及び固定資産の増加等によるものであります。

負債については、65億61百万円となり、前事業年度末と比べ2億4百万円の増加となりました。これは仕入債務の減少等があったものの、短期借入金及び長期借入金等の増加によるものであります。

純資産については、49億90百万円となり、前事業年度末と比べ90百万円増加しております。これは主に四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、総資産の増加等により、自己資本比率は前事業年度末と比べ0.3ポイント減少の43.2%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	738	694
受取手形及び売掛金	3,712	4,063
商品及び製品	227	225
仕掛品	426	368
原材料及び貯蔵品	919	882
その他	128	124
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	6,149	6,353
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,118	1,089
土地	2,917	2,917
その他（純額）	739	864
有形固定資産合計	4,775	4,871
無形固定資産	166	150
投資その他の資産		
その他	259	220
貸倒引当金	△93	△44
投資その他の資産合計	165	176
固定資産合計	5,108	5,199
資産合計	11,257	11,552

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,977	2,623
短期借入金	800	900
1年内返済予定の長期借入金	545	627
未払法人税等	18	14
賞与引当金	—	25
その他	399	506
流動負債合計	4,742	4,696
固定負債		
長期借入金	1,386	1,633
退職給付引当金	116	129
役員退職慰労引当金	87	81
資産除去債務	2	2
その他	21	18
固定負債合計	1,614	1,865
負債合計	6,356	6,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	△8	82
自己株式	△239	△240
株主資本合計	4,900	4,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	0
評価・換算差額等合計	△0	0
純資産合計	4,900	4,990
負債純資産合計	11,257	11,552

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,772	8,598
売上原価	7,578	7,450
売上総利益	1,194	1,147
販売費及び一般管理費	1,058	1,013
営業利益	136	134
営業外収益		
受取配当金	—	0
仕入割引	0	—
受取手数料	3	3
雇用調整助成金	2	1
その他の雇用関連収入	—	3
その他	10	2
営業外収益合計	16	10
営業外費用		
支払利息	30	28
売上割引	15	14
その他	1	2
営業外費用合計	47	46
経常利益	105	98
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	17	—
特別利益合計	20	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	8	1
減損損失	50	—
その他	0	0
特別損失合計	60	1
税引前四半期純利益	65	98
法人税、住民税及び事業税	6	7
法人税等調整額	△1	△0
法人税等合計	4	7
四半期純利益	60	90

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。